


人口について

質問・意見等	回答趣旨																																				
子どものFターン率を知りたい	転入者が富士見町出身者かどうかは個別に戸籍を追わないと識別できないため、データとして示すことは困難となります。																																				
年代別税率を知りたい	<table border="1" data-bbox="860 300 1384 821"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>人数</th> <th>住民税額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-19</td> <td>208</td> <td>1,987,300</td> </tr> <tr> <td>20-29</td> <td>879</td> <td>85,695,300</td> </tr> <tr> <td>30-39</td> <td>990</td> <td>142,192,700</td> </tr> <tr> <td>40-49</td> <td>1,573</td> <td>292,783,300</td> </tr> <tr> <td>50-59</td> <td>1,837</td> <td>383,245,000</td> </tr> <tr> <td>60-69</td> <td>1,785</td> <td>240,238,700</td> </tr> <tr> <td>70-79</td> <td>2,223</td> <td>127,965,200</td> </tr> <tr> <td>80-89</td> <td>1,401</td> <td>40,567,100</td> </tr> <tr> <td>90-100</td> <td>557</td> <td>11,036,400</td> </tr> <tr> <td>>100</td> <td>26</td> <td>132,900</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>11,479</td> <td>1,325,843,900</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	人数	住民税額	10-19	208	1,987,300	20-29	879	85,695,300	30-39	990	142,192,700	40-49	1,573	292,783,300	50-59	1,837	383,245,000	60-69	1,785	240,238,700	70-79	2,223	127,965,200	80-89	1,401	40,567,100	90-100	557	11,036,400	>100	26	132,900	総計	11,479	1,325,843,900
年齢	人数	住民税額																																			
10-19	208	1,987,300																																			
20-29	879	85,695,300																																			
30-39	990	142,192,700																																			
40-49	1,573	292,783,300																																			
50-59	1,837	383,245,000																																			
60-69	1,785	240,238,700																																			
70-79	2,223	127,965,200																																			
80-89	1,401	40,567,100																																			
90-100	557	11,036,400																																			
>100	26	132,900																																			
総計	11,479	1,325,843,900																																			
移住者の数と移住者の転出数を知りたい	転出者が移住者かどうかは個別に戸籍を追わないと識別できないため、データとして示すことは困難となります。																																				
Fターンがどのくらいの割合なのか	転入者が富士見町出身者かどうかは個別に戸籍を追わないと識別できないため、データとして示すことは困難となります。																																				
6歳の子の転出が多いのはなぜ？	具体的な要因の調査はしていませんが、一般的には、6歳前後は小学校入学の時期と重なるため、通学環境や子育て環境、住宅取得、仕事の都合などをきっかけに転居を検討する家庭が一定数あると考えられます。そのため、全国的にも人口移動が起こりやすい年代の一つです。																																				
先進的な取り組みをしているところがあれば知りたい	様々な事例がありますが、子育て・教育・働く場・移住定住を総合的に進めることが、人口施策の重要な流れとなっています。																																				
境・本郷地区の希望者の理由は／人気の秘密は？	小学校のクラスが小規模で、親同士も顔なじみになりやすく、アットホームな雰囲気がある、地域の支援が充実している、といった声を聞いています。																																				
令和7年度以降、転出超過になった理由は？	令和7年は日本人のみでは-6の転出超過ですが、外国籍の方も含めると+43の転入超過であることから、日本人の転入が減り外国籍の転入が増えたことが考えられます。また、日本人のみの社会動態を学区別で見っていくと、令和7年は富士見小学区-28、本郷小+14、境小+8であることから、富士見小学区の日本人の転出が特に多いことがわかります。																																				
移住相談数と成立数はなぜこんなに違うのか？原因と対策は？	需要に対して物件が不足していることが考えられます。対策として空き家の掘り起こしのための調査を行い、空き家所有者への相談会などを行っています。																																				
移住実績（成約物件の年代）の内訳	20代:2組、30代:2組、40代:10組、50代:2組、60代:5組、70代:4組																																				

人口について

質問・意見等	回答趣旨
地元企業への就職率を知りたい	令和2年国税調査の結果によりますと、富士見町民の出勤者5,921人（在宅就業者1,248人を除く）の55.1%が町内の企業、44.9%が町外の企業で働いています。町外では、茅野市、諏訪市、北杜市の順に就業者が多いです。
18歳～20歳台の富士見町の人口を知りたい	2025年10月1日現在の推計人口（R2国勢調査ベース）では、18～29歳は1,044人（男560人、女484人）となっています。
移住者の意見は聞いているか？	ウツリスムステーション、森のオフィス等で意見を聞いています。
人口増加対策についてどのようなことを考えているか	若い世代が帰りたくなるまちに向け、教育・仕事・住まいの整備・発信を軸とした施策を推進しています。
移住促進をもっとできないか	情報発信や物件掘り起こしなど様々な観点から更なる取り組みが可能であると考えており、改善と強化に取り組んでいます。
結婚対策は怎么样了か	イベントを年2回実施しています。また、随時、結婚相談所の登録者への相談対応をしています（R7：23回/年）
物件の開拓、宅地の開発は怎么样了か	空き家の掘り起こしのための調査を行い、空き家所有者への相談会などを行っています。宅地の開発はこれまで未着手でしたが、取り組み開始に向けて準備を進めています。
転入者への支援はたくさんあるが、今までの人への支援は必要ないのか？町のために動いている人がいい思いをしているか？	今暮らしている方々の生活を守るためにも、人口の維持（＝転入者への支援）は必要となります。町民向けの支援としましては、定住を後押しするための新築・空き家改修補助金の町民加算などがあります。
人口推計のデータが2015年の調査のものを使用している。現状の幼年人口をもとにした推計が進まない議論が進めないのでは？近年の幼年人口をもとにした推計をし、委員の認識を統一したほうがいいのでは	資料で2017年時点の将来推計を使用しているのは、2019年策定の公共施設再編方針の統廃合（仮）案の背景として掲載されているためであります。
富士見小学校区がほかの小学校に比べて児童数の推移が減少する理由は？	正確な要因はわかりませんが、他の小学校に比べ、社会増が少なかったことが原因として考えられます。
移住相談に30代が減っている原因は？	正確な要因はわかりませんが、コロナ禍の影響でリモートワークが可能になる等の要因で一時的に増えた可能性が考えられます。

財政・施設について

質問・意見等	回答趣旨
現状の各保育園・各小学校の維持費はどれくらいか？	第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
学校の維持管理費の予測資料はあるか	第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
小学校を統合するとしたら、改修するのか、新築するのか？	長寿命化改修と新築の両方を選択肢として第3回・4回あり方検討審議会中にてご説明させていただきます。
今後、中学生も減っていくが、小中学校をまとめるのか	第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。どうするかは当審議会の答申の中でご意見を頂いた上で方針を決定して参りたいと考えております。
小中一貫校としての富士見中の活用案はあるか	第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
公民館と学校の複合施設(家庭科室を地域の方が使えるようにするにはどうしたらいいか)	第4回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
施設を縮小するにしても維持が必要だが、維持費についてどう考えているか。	維持費についても重要な検討材料のひとつとして検討頂きたい、第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
廃校した学校への補助金は一時的なものなのか、継続的なものなのか知りたい	第4回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
ほかの分野を犠牲にしてまで、学校保育園の施設を守るべきか悩む	貴重なご意見ありがとうございます。
ある程度の消費者負担は必要ではないか。お金がかからない生活の時代は終わった。	貴重なご意見ありがとうございます。
令和13年までに基金が枯渇するという説明をもう少し詳しく教えてほしい。	<p>財政状況については、説明動画をご覧くださいと幸いです。</p> 
公共施設の「拡充」(資料13ページ)の決め方はどうなっているのか。	観光振興、企業誘致、定住促進という町の重点施策に直結していることから政策的な必要性があると判断されたものとなります。施設単体の利用者数だけでなく、地域経済・人口動態への間接的な効果が期待できることから波及効果が大きく、また、民間や他の公共施設では代替しにくい固有の機能・役割を持っていることから、代替が困難な施設でもあります。
観光施設を「拡充」することへの採算の見込みは？	観光施設の拡充は「単体で黒字を出す」ことを目的とするのではなく(パノラマは比較的明確だが、他施設は単独な黒字化は困難な場合もある)、町全体の交流人口・経済循環・定住促進に貢献することで、総合的な採算が見込まれるという考え方が、富士見町の再編方針の根底にあります。ただし、リスクとして需要変動や維持更新費の増大への備えは必要です。
文化・スポーツ施設の利用者減だけで「縮小」という判断でいいのか。強みとして考えられないか。	文化・スポーツ施設は、利用者数だけで測れない町の強みを支える基盤です。優先度3の施設であっても、町の移住定住・健康・コミュニティ政策との連携を評価軸に加えた上で、縮小・複合化・活用強化のどれが最適かを判断することが重要です。

財政・施設について

質問・意見等	回答趣旨
<p>老朽化から富士見小学校はなくすように聞こえるが、児童クラブの新設をどう考えているか。</p>	<p>建築年数の古さ等に関する言及により、『富士見小学校をなくす』との懸念を招くような印象を与えてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。 今回、児童クラブを新築いたしました経緯につきましては、学校再編の議論の有無にかかわらず、現状、既存の児童クラブは利用定員を大幅に超えており、子どもたちの安全面や放課後の健やかな環境を維持することが、施設のにも運営的にも限界に達しておりました。 学校の再編方針が未定である中ではございましたが、子どもたちの安全を守ることは行政の最優先事項であり、現在の環境を放置することはできないとの判断から、この度の整備を実施いたしました。</p>
<p>学校の規模によるメリットデメリットだけではなく、その学校ならではの環境や特徴を説明してほしい。</p>	<p>公立学校は、指導要領により学習の特徴は示しにくいですが、総合学習などで各校が以下のような特徴的な取り組みをしています。 ○富士見小;すずらん遠足、諏訪支援学校・富士見高校との交流、ひまわりの栽培とひまわり油 ○本郷小;自然観察教室、立場川を美しくする会、編笠山登山 ○境小;押立交流会、押立相撲、マスカみ大会(PTA主催)、編笠山・西岳登山</p>
<p>子育て支援施設の中に子育て支援拠点、家庭的保育事業を実施しているか</p>	<p>町が管理する「乙事研修センター」は、現在、子育て支援拠点「子育てひろばAiAi」として整備され、未就学児とその家族が気軽に集える居場所となっています。同拠点の運営はNPO法人「たくさんの手」に委託しており、施設内では併設事業として家庭的保育事業「おうち園かめさん」も実施されています。現在、かめさんには5名の児童が在籍しています。</p>

地域について

質問・意見等	回答
災害時の避難も多様化している。分散化避難、学校公民館への避難も考えられるのでは。	ご指摘のとおり、現在の防災では在宅避難や地区公民館への分散避難など、多様な避難のあり方が重要になっています。一方で、学校体育館には、大人数受入れ、耐震性、備蓄、暖房、長期避難対応など、公民館では代替しにくい役割があります。そのため、まずは身近な公民館などの1次避難所へ避難し、必要に応じて学校などの2次避難所へ移るとい、段階的・分散型の避難を想定していく必要があると考えています。
民間施設は避難所にはならないのか	民間施設と協定を結び、1次避難所としている地区もあります（1区のみ）。
学校は地域を作る基盤となっている。地域ごとに学校を維持する方法はないか。	今後審議会にて様々な選択肢を検討する中でぜひ議論して頂きたい内容だと考えています。具体的な選択肢については、第3回・第4回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
移住者の区加入率は？	移住者に限った割合ではありませんが、町全体の平均区加入率は63.6%となっています。*算出に使用している世帯数の数え方が、各地区および住民基本台帳上では異なることから、各地区の状況を正確に反映している数字ではありません。なお、母数となる世帯には集合住宅居住者等も含んでいます。
複数の公民館が1つになるとき、補助金制度はあるのか？各地区で賄うのか	第4回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
学校保育園が及ぼす不動産評価への影響	学校や保育園は、子育て環境や地域の安心感に関わる施設であり、一般的には地域の魅力や住宅需要、不動産評価にも一定の影響を与えられます。一方で、不動産価値は学校だけで決まるものではなく、利便性や交通、防災性など様々な要素が関係するため、地域全体の将来像を踏まえて総合的に考える必要があると考えています。
小学校が廃校した場合、災害時の避難所を新たに設置するのか	第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
コミュニティスクールの取り組みの強化（人が変わっても変わらない活動）	貴重なご意見ありがとうございます。
地域活動も主役（子ども？）の減少に伴い、統合廃止が進むのでは。	貴重なご意見ありがとうございます。
避難所である町民センターの耐用年数は？	物理的耐用年数2037年 1977年建築60年
信州やまほいくの統括、今度の展望	町立保育園5園が「普及型」、森のいえ ぽっちが「特化型」として、信州型自然保育認定を受けています。富士見町では子どもたちが自然の中で心身を育むことは、以前から地域に根ざした当たり前の風景でした。しかし、この豊かな環境こそが富士見町が誇る最大の魅力です。今後はさらに自然保育の輪を広げていくとともに、各園が地域環境や特色を活かした独自の取り組みを一層充実させていきます。また、富士見町ならではの子育て環境として広く発信することで、子育て世代の皆さまに選ばれる町づくりを推進します。
コミュニティスクールの今後の展開	各校でコミュニティスクール運営委員会の立上げを予定しており、地域の力を借りてより一層充実させたいと考えています。

その他

質問・意見等	回答
どこに力を入れたいのか。	諮問書の通り、①未来を生きる子どもたちに望ましい教育環境、②次世代に負担を残さない公共施設マネジメント、③地域の安全・持続可能性と教育への地域の参画 を満たす学校保育園のあり方の方向性を導き出したいと考えています。
小学校のあり方を考えるとき、町は何をどうしたいのか知りたい。(地域の在り方、区加入の進め、移住との絡み合いなど)	諮問書の通り、①未来を生きる子どもたちに望ましい教育環境、②次世代に負担を残さない公共施設マネジメント、③地域の安全・持続可能性と教育への地域の参画 を満たす学校保育園のあり方の方向性を導き出したいと考えています。本審議会で委員の皆様が出された方向性を基に町としての方針を決定していきたいと考えております。現時点で町の意向を強く出すことは、一定の方向性への誘導となる懸念があることから控えさせて頂いております。ご質問の地域の在り方に関しては、自治機能の維持向上のための施策(区加入促進等)をさらに強化するための取り組みを進めています。
全国に対しての学力はどうか。少人数制ならではの細かい教育をアピールできるのでは？	今後審議会にて様々な選択肢を検討する中でぜひ議論して頂きたい内容だと考えています。(学力に関しては、お示しできる指標はありません。)
教員数を維持できるのか	第3回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
小学校に徒歩で通えることは重要ではないか。	徒歩通学は、単なる移動手段以上の価値があると考えますが、審議会のなかで議論を重ねていきたいと考えます。
3校各学年25名をキープしていく施策は考えられるか。	今後審議会にて様々な選択肢を検討する中でぜひ議論して頂きたい内容だと考えています。具体的な選択肢については、第3回・第4回あり方検討審議会にてご説明させていただきます。
自然体験は家庭教育、社会教育でも推進できる	貴重なご意見ありがとうございます。
存続か、統合化エビデンスをとる。地元民、移住者にそれぞれどちらがいいか理由を問う。	貴重なご意見ありがとうございます。
複合施設があれば教育効果もあるのではないか	貴重なご意見ありがとうございます。
大規模と少人数制と選択できるといい	貴重なご意見ありがとうございます。
不登校、特別支援級の必要な子どもを加味して考えたい。通級、不登校の子どもの人数を知りたい	不登校と単純にくることが難しいです。30日以上長期欠席者を一般的には不登校としています。不登校は問題行動ではないと国も説明しており数だけで論ずることができない状況です。特別支援学級については審議会でお答えいたします。
全てにおいて町の取り組みにやり切った感はあるか？どのくらいの伸びしろがあると考えているか。	着手できている施策は多いものの、特に情報発信の部分で伸び代があると考えております。本年度より広報専門の外部人材を起用し効果的で持続可能な情報発信が実施できる組織作りの取り組みを強化してまいります。
学校・保育園の魅力や特徴を情報発信しているか？子ども会などの活動もアピールできるのではないか。	町内に向けた情報発信は行なっておりましたが、町外に対しての情報発信は未実施の部分も多いため、本年度から地域おこし協力隊制度を活用した町外への子育て環境の情報発信を強化していきたいと考えております。

その他

質問・意見等	回答
<p>大人の視点のみで子ども（当事者）の意見は聞かないのか</p>	<p>子どもの声を聴くことは重要ですが、単に「意見を聴く」という行為に留まらず、それが実際に反映される実感を子どもたちに持ってもらうことが不可欠です。子どもたちが自ら学校をより良くする「当事者」であるという自覚を促す仕組みづくりを大切にまいります。</p> <p>また、学校の在り方を検討するにあたっては、「子どもたちにとって何が最善か」という視点を全ての議論の中心に据えたいと考えています。地域の方々がこれまで学校を育み、支えてくださった深い想いに敬意を表しつつ、これからの地域社会の未来をともに見据えながら、次世代への責任を果たすための対話を重ねてまいります。</p>
<p>学校の統廃合は、子どもの気持ち、地域の気持ち、経済点の3つの視点が必要ではないか。</p>	